

このままでいいのか地方議会



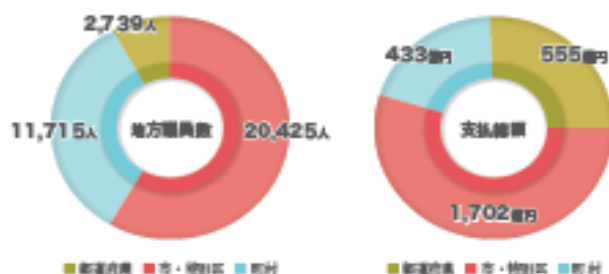
土・日・夜間
議会改革!



地方議会を変える
国民会議

1. 地方議会の現状①

議員数と報酬等



**地方議員
総数 34,879 人
支払総額
約 2,690 億円**

1. 地方議会現状②

報酬等（年額）の内訳（試算）

	都道府県	市・特別区	町村	合計
団体数	47	812	929	1,788
議員数	2,739	20,425	11,715	34,879
報酬	261億円 (963万円)	1,047億円 (513万円)	306億円 (261万円)	1,614億円 (463万円)
期末手当	114億円 (416万円)	390億円 (191万円)	103億円 (88万円)	607億円 (174万円)
政務活動費	121億円 (442万円)	167億円 (82万円)	3億円 (2.5万円)	291億円 (83万円)
費用弁償 諸経費	59億円 (215万円)	98億円 (48万円)	21億円 (18万円)	178億円 (51万円)
合計 (年額)	555億円 (2,026万円)	1,702億円 (833万円)	433億円 (370万円)	2,690億円 (771万円)

※地方議会を考慮する国別会議費
議員数・報酬：平成25年4月1日地方公務員給与実態調査
期末手当：上記報酬額をベースに期末手当額を試算（報酬額との比率は「賃金日本」公表資料による）
政務活動費、費用弁償・諸経費：議員一人当たりの額は「賃金日本」公表資料（平成16年調べ）をベースに、データが公表されているものは近年のデータに置き換え。

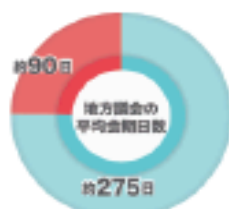
1. 地方議会の現状③

地方議会の 平均会期日数



議会の年間会期日数

**90日前後
(町村を除く)**



出典：総務省資料より。

1. 地方議会の現状④

地方議会の機能

首長が提出した議案をこの4年間で
一本も修正や否決していない「丸のみ」議会

50%

議員提案の政策条例が一つもない「無提案」議会

91%

議員個人の議案への賛否を明らかにしない「非公開」議会

84%

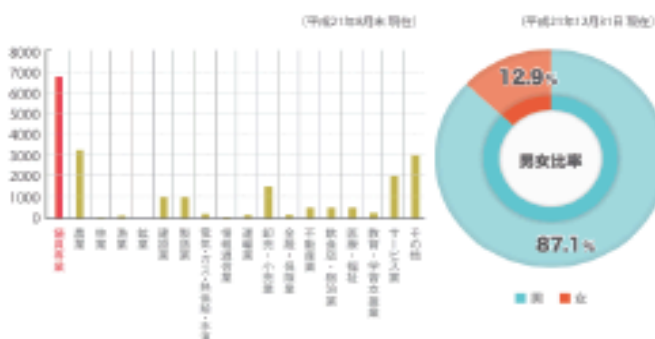
**地方議会が
十分機能しているとはいえない**

※出典：2011年1月朝日新聞アンケート調査より。都道府県と市町村の計177の議会を対象（回収率100%）。

1. 地方議会の現状⑤

職業別状況と男女比

市・区議会議員



議員専業が1位

2. 地方議会の改革プラン

もっと多様な人たち
(商売をしている人、子育て中の人、会社勤めの人など)が、
そのまま議会に参加できるように
できないのでしょうか？

**「議会を土日・夜間開催に」、
「兼業議員を当たり前に」**
といった議論は以前からあります。

あとは、実行するだけです。

第28次地方制度調査会から 総理への答申(2005年12月)

住民を代表する議会の議員に幅広い人材を確保
できるように、女性や勤労者が議員として
活動する上での便宜に資するよう
休日、夜間等に議会を開催
するなどの運用上の工夫をすべきである。

また、制度面では、

勤労者が議員に立候補でき、

また、**議員として活動することができるような環境の整備、**

さらには地方公共団体の議会の議員と

当該団体以外の地方公共団体の職員との

兼職を可能とすることも検討すべき課題である。

2. 地方議会の改革プラン 各国の地方議会

**土日・夜間開催、
報酬は無報酬・
実費程度という
議会が広くみられる**

海外の事例	
アメリカ	市町村議会は週末や夜間に開かれるのが通例
ドイツ	通常、夕刻に開催
スウェーデン	コミュンは通常、夕刻から開催され、2～5時間程度かけられる
フランス	通常、20時間種(クラブヴォア市)
イタリア	コムーネは、8月を除く毎週月曜18時～20時開催(ボローニャ市)

※出典：総務省資料、各々木登大著『地方議員』(PHP 新書)より。

2. 地方議会の改革プラン

地方議会の改革プランの提案

アメリカ			
人口	2億5000万人		
議に地方の議員	議員制		
	席	議	議員定数
定例会数	53	3,000	24,000
地方議員数	7,000人	17,000人	150人
議員報酬額 (円/年)	200万円	95万円	740万円
TAggo	400円	100円 (州議会: 500円/ 州議: 400円)	

イギリス			
人口	6000万人		
議に地方の議員	議員制		
	席	議	議員定数
定例会数	24	430	435
地方議員数	2,000人	—	20,000人
議員報酬額 (ポンド)	—	—	—
TAggo	700円		

ドイツ			
人口	8000万人		
議に地方の議員	議員制		
	席	議	議員定数
定例会数	15	430	12,000
地方議員数	2,000人	20,000人	150人
議員報酬額 (円/年)	100万円	150万円	750万円
TAggo	400円	100円 (州議会: 500円/ 州議: 400円)	

スイス			
人口	700万人		
議に地方の議員	議員制		
	席	議	議員定数
定例会数	23	—	200
地方議員数	2,000人	—	50人
議員報酬額 (ポンド)	—	—	—
TAggo	500円		

フランス			
人口	6000万人		
議に地方の議員	議員制		
	席	議	議員定数
定例会数	25	100	27万
地方議員数	2,000人	4,000人	500人
議員報酬額 (ポンド)	—	—	—
TAggo	400円	500円 (州議会)	

韓国			
人口	5000万人		
議に地方の議員	議員制		
	席	議	議員定数
定例会数	15	—	222
地方議員数	700人	—	3,500人
議員報酬額 (ポンド)	24万円	—	72万円
TAggo	300円	210円	

※比較：各々本誌大巻「地方議員」(PHP 新書)より。

提案.1

議会を土日・夜間開催に

多くの国では、地方議会は夜間などに開催し、普通の市民が議員になることは当たり前です。

提案.2

「兼業議員」を当たり前

お勤めしている人も退職せず立候補できるよう会社の環境整備が必要です。

提案.3

第一段階として報酬を半減

多様な人たちに議会を開放し、第一段階として報酬を半減するとともに、仕事の成果に応じて増減する仕組みも導入することを提案します。

朝霞・新座・志木を中心に志ある地方議員・候補を求めます。

地方議会が現在、十分に機能しているといえるかどうかは疑問です。欧米各国で広くなされているように、地方議会は「土日・夜間開催」などにし、普通の仕事ある人など多様な人材が議会に参加できるようにしたらよいのでないか・・・という問題提起は古くからありますが、実現されていません。

そこで暮らす主婦やサラリーマン、あるいはそこで生業する地元の市民だからこそ肌で感じる地域の課題を、様々な立場から示し、それぞれの目線で議論を重ね、解決提案の合意形成ができる「場づくり」と「関係づくり」を行うことが重要であります。

こうした問題意識を共有する皆さんの決起を促すため、「地方議会を考える国民会議」では、慶應義塾大学教授の岸博幸氏を交え、市民と語り合う場を、以下のとおりに催します。

埼玉県のより良い発展のためにも、このイベントをより多くの人たちにお知らせしたいと思いますので、是非みなさま方の事前の広報、及び当日取材のご協力をお願いしたいと思います。

ご多用とは存じますが、何卒お力添えください。

なお、本セミナーは「土日夜間議会サロン」の第一回（特別公開セッション）として開催いたします。

平成27年8月吉日
地方議会を変える国民会議